

会 議 録

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 平成19年度第3回富士見市図書館協議会 |
| 開催日時 | 平成19年9月15日(土)午前10時00分~12時00分 |
| 開催場所 | 中央図書館 レセプション室 |
| 出席者 | 吉田 廣子委員、中澤 佳珠代委員、京谷 恵子委員 岩田 仁委員、佐藤 安宏委員、埴 千数委員 高橋 千代子委員、細田 幸子委員、上松 恵美子委員 事務局 出井中央図書館長、石川ふじみ野分館長 |
| 欠席者 | 對馬 明子委員 |
| 公開・非公開 | 公開(傍聴人 0人) |
| 会議次第 | 出井中央図書館長あいさつ 岩田委員長あいさつ 報告連絡事項等 協議事項 1 今後の協議題について 2 その他 |
| 会議資料 | 図書館主催事業報告等資料 集会室夏期利用状況一覧 7月・8月利用統計 平成18年度図書館費決算 富士見市子ども読書活動推進計画策定委員会関係資料 |
| 会議録確認 | 岩田 仁委員 |

会 議 内 容 (要 点 記 録)

報告連絡事項

- (1) 図書館主催事業について
子ども1日図書館員、夏の工作会「くじゃく貯金箱をつくろう」、こわ～いおはなし会、おもしろ科学教室「ドライアイスであそぼう」、夏休み子ども科学あそび講座「エコマイクをつくろう」、子ども文化講座「オリジナルしおりをつくろう」、夏休み子ども映画会、集会室夏期利用統計、本のリサイクルフェア、秋の名作映画会...中央図書館長が資料に基づき説明。「ドライアイス...」については、希望が多く、急遽2回目を計画した。
- ・ かわいおはなし会については、午後の部で雷が鳴って雰囲気も怖くなり、子どもたちも集中して聞いていた。(委員。おはなしボランティア)
- (2) 視聴覚資料返却ポストの利用について
7月から実施しているが、今のところ問題は生じていない。
- (3) 月末休館日の臨時開館(7月31日、8月31日)について
今年度より、学校の夏季休業期間の月末を開館。資料により利用状況を説明。
- (4) 18年度決算の概要について
中央図書館長が資料に基づき説明。
- (5) 富士見市子ども読書活動推進計画策定委員会について
別紙資料により説明。7月から今年度中の策定をめざして事務をすすめている。事務局は生涯学習課と図書館で、ある程度の段階で図書館協議会と教育委員会で協議していただく予定。
- (6) 事務処理要綱等の改正について
条例及び規則の改正に伴い変更になった。次回詳細を説明する。
- (7) 中央図書館屋上防水工事について
防水層やドレンが経年劣化し、雨漏り。7月から9月まで工事を実施している。
- (8) 台風9号による被害状況について
中央図書館南側、池の前の櫛の木が倒れた。安全性に配慮し、直後に撤去した。
- (9) 図書の汚破損について
故意の汚破損が見受けられるため、利用マナーの向上策を考えたい。
- * 質疑応答及び意見交換
- ・ 汚破損の資料を展示することにより、利用者のマナー向上を図ったらどうか。
 - ・ 館内飲食禁止は汚損防止のためであり、その趣旨を広報したらどうか。
 - ・ 切り抜きはいたずらが多いが、コピーが面倒という人もいるのではないか。
 - ・ キャンペーンでは、子どもでも理解できるよう工夫を要する。利用案内にも表示を。
 - ・ 気持ちよく利用していただく趣旨を理解してもらう必要がある。
 - ・ 死角が多いので随時巡回とのことだが、その際は声かけしやすい雰囲気を。
 - ・ 職員からの声かけではトラブルになるケースもあり、ご理解いただく姿勢が必要。
 - ・ コピーに関するトラブルでは、(著作権法上)いけないことを理解してもらえない。
 - ・ CD裏表紙のコピーや問題集への回答の書き込みなどもある。
 - ・ 標語を募集して本に貼ったらどうか。
- < 協議事項 >
- 1 今後の協議題について
- * 各委員の意見等

- ・ 今までの答申を受けた検討とするのか、新しいテーマを考えたほうがいいのか。
- ・ 具体的にできる何かを提言したい。かたちで残るものを。
- ・ 関連のボランティアをしているが、小さい頃から本好きにする方法を考えたい。
- ・ 図書館の施策としてはあるが関心がない人もいるので、職員とともに考え、具体化していきたい。
- ・ 何回か答申をだしたが、具体化されていないものもある。再検討を行い、職員とボランティアと一緒に活動している館も視察してきた。できるところからやれば。
- ・ 学校の立場から見ると、子どもは本好きだと分かる。しかし富士見の図書館利用は面倒で、突然希望しても利用できない。志木や三芳はいつでも可能で、子どもたちの行動に対する気配りもある。大人になっても図書館を上手に使えるような配慮が必要だと思うし、少しでも本に接する機会を増やしてほしい。
- ・ 利用者の立場から朝霞の図書館は大変使いやすい、と友人から聞いた。日常生活のなかで読書する時間が中々取れないなか、親も巻き込んで道筋をつくってほしい。
- ・ インターネットから情報を得られる状況があり、本に触れなくても不便でない。児童書等発行も少なく図書館で収集できないこともある。図書館に関して理論的なことも学びたい。夏のこわいおはなし会は参加者が100人を超え、年々増えている。逆に定例のおはなし会の参加が少なく（方策を）検討している。
- ・ 図書館とインターネットの関係等新しい課題もでてきている。
- ・ 移動図書館の針ヶ谷小で子どもが楽しい時間を過ごせたのがうれしかった。今後は、堅苦しくなく使いやすい「気持ちよく使える」図書館について考えていきたい。
- ・ 次回、今まで答申いただいた内容を新しい委員さんにお渡しし、それを膨らませていきたい。また、図書館サービス計画も策定以来4年程経ち見直しを予定しているが、委員さんと相談しながらすすめていきたい。図書館の評価についても貸出数が中心だったが、今後は図書館のあり方まで掘り下げていければと思っている。市民が利用上（内容面で）満足でき、また「行ってみたいくなる」図書館をめざしたい。

2 その他

(1) 次回会議について

11月17日（土）午前10時、中央図書館のレセプション室で開催する。

3 閉会あいさつ

以上